

二期着工を絶対阻止するぞ!

日刊 動労千葉

81.12.1
No. 909

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五ノ六(公衆)〇三三(宅)七二〇七

11・29三里塚現地総決起集会開かれる



三里塚を闘う「実行委員会」が主催した初めての現地集会は大成し、「二期阻止」へむけ、画期的な地平を切りひらいた。(三里塚第一公園)

東京実行委員会が呼びかけ、三里塚反対同盟の協賛する「三里塚二期着工阻止11・29現地集会」が二千二百名参加のもと三里塚第一公園で開催された。日帝の軍事大国化・改憲にむけた攻撃の策動をなす三里塚二期着工の来春強行着工が予想される緊迫した情勢の中で、この闘いを爆発させ勝利する事が、右翼労戦「統一」、国鉄三五万人体制攻撃を粉碎する道である。

動労千葉は、この間の三里塚・ジェット闘争の過程で、東京実行委員会との支援・共闘関係をつくり出してきたが、「11・29集会」の呼びかけに応え、青年部を中心に百十名が決起し、二期着工阻止の決意をうち固めた。

集会では、東京実行委員会に結集する各地区実行委員会を中心に決意表明が行なわれ、反対同盟からは敷地内農民を含め、20名を超える決意が表明された。とりわけ、反対同盟農民一人一人の発言は、軍事大国化・改憲、そして侵略戦争の道に突き進む日帝の大反動攻撃と真向から対決して闘うという決意が明らかにされた。

集会に参加した各労組、団体の代表からは、反対同盟農民の決意に応え、来春三月総決起する事を宣言し、意気高くデモ行進を貫徹した。

とを確信する。

集会における各代表の発言要旨

● 動労千葉 関川委員長

東京実行委員会主催で現地集会を開催された事は意義ある事だと思えます。政府空港公園・国鉄当局は、昨日2本、本日9本、そして明日2本のジェット燃料輸送を運休した。これは東実の現地での闘いがジェットを阻止したということだ。われわれが闘い抜いた3月ストをひきついで、今日の闘いがあり、こうした闘いこそが国家権力に圧力を加え粉碎できると思う。

右翼労戦「統一」の動きがあるが、われわれは12・3東京に進出して集会を開催します。まさにこの闘いこそ、三里塚への攻撃をはね返し、労働線の三里塚へむけての労働者の歩みだと思ふ。動労千葉は三里塚二期着工阻止の先頭にたつて闘いぬく。

● 東実世話人 浅田光輝

ヨーロッパでは、反核・反戦の運動がもり上っています。日本でもヨーロッパの闘いが起こる事が不可能ではない。三里塚に10万人の人が結集したらどうなるでしょう。10万人の人民を眼前にして二期着工に出るならば、大衆の圧力を背景にして実力抵抗の闘いをも辞さない。廃港に追い込むこ

● ここに来たら廃港しかない!

来る途中検問を受け、「免許証、車検証を見せろ」「どこに行くんだ」といわれた。もうここに来たら廃港の二字しかありません。3・28には埋めつくすような闘いをやる。それが軍事空港反対、反戦・平和の私達の闘いです。

● 長原部落 宮本よしみ

ここに集まられた皆さんが、有事の際には一人が二人つれてくれれば数倍になります。来るものは撃つ。この精神を曲げてはならない。

● 東峰部落 島村良助

私はこの空港が軍事空港であり、人民虐殺の空港だと思ふ。この空港をみると、絶対二期着工はやらせてはならない。

● 一九八一年新賃金ベア差額

(12月28日支払い)

一九八一年度新賃金配分について、動労千葉は、組合要求に基く早期精算についてこの間精力的に団交を行なってきたが、11月27日の第6回配分交渉において12月28日にベア差額の支払いを確認した。(詳細については交渉ニュース参照)